

教育は児童一人一人の未来づくり

朝霞市立朝霞第五小学校

校長 唐松 善人

本校2年目となりました、校長の唐松善人でございます。本年度も、昨年度に引き続き、児童一人一人のよりよき成長のために全力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校は、昭和42年4月に開校した歴史と伝統のある学校です。平成28年10月には、創立50周年記念式典を挙げる事ができました。長年にわたり、保護者や地域の皆様方から本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

また、本校では、平成22年3月に5階建ての設備の整った新校舎が完成しました。さらには、平成23年11月に新体育館とプールも完成し、平成24年には改築事業が完了しました。現在、本校では、児童がのびのびと学習に集中することのできる素晴らしい教育施設・教育環境が整っております。

さて、本校の学校教育目標は、「豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成」です。この学校教育目標にあわせて、目指す児童像を「元気な子(体)」「優しい子(徳)」「究める子(知)」としました。この学校教育目標や児童像の具現化を通して、児童一人一人に学力や豊かな心、健康・体力をバランスよく育むことを目指します。

現在は小学生である児童も、数年後には本校を巣立って中学校に進学をし、いずれは社会において生きていくこととなります。社会に出れば、希望する職業に就くことができたり、多くの人たちと出会って交友を深めたり、趣味の世界を広げたりと、充実した体験をすることも多いでしょう。しかし同時に、困難な場面や辛い場面にも遭遇するはずで、このようなとき、児童が学校教育目標に掲げられた力を身に付けていれば、困難な場面や辛い場面を自分自身の力で克服し、さらなる成長を遂げることができます。本校では、日々の教育活動を通して、児童一人一人のよさを引き出し、育て、伸ばします。そのうえで、児童一人一人に未来を生き抜く力の基礎を身に付けさせることこそ、本校教職員の使命と考えます。

しかし、児童のよりよき成長を実現するためには、学校教育だけでは一定の限界があります。児童を取り巻く大人たちが、ベクトルを揃え、スクラムを組むことが何よりも大切です。保護者や地域の皆様方、関係諸機関の方々、私ども教職員がお互いの垣根を取り払い、児童の未来を第一に考えて本音で語り合うことが、児童のよりよき成長につながるのではないのでしょうか。幸いにして、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただける方が多くいらっしゃることに感謝申し上げます。今後とも、保護者や地域の皆様方、関係諸機関の方々のお力添えを頂きながら、児童のよりよき成長のために力を尽くしてまいります。